

若手研究者による古代中近東研究会  
CISMOR Workshop in 2019 by Young Scholars:  
Ancient Near Eastern Studies

日時：2019年12月8日（日）10:00～18:45（懇親会 19:30～21:00）

コーディネーター：山本孟（同志社大学神学部・日本学術振興会特別研究員）

場所：至誠館3階会議室（研究会）・神学館3階チャペル（公開講演会）

本研究会では、古代中近東（メソポタミア・エジプト・アナトリア・ヘブライ語聖書世界）の考古学・文献学を専門とする若手研究者による発表を行う。

午前

10:00-10:10 初めの挨拶 アダ・タガー・コヘン教授(CISMOR センター長)

司会：山本孟

10:10-10:50 辻坂真也(同志社大学)  
「ウル第三王朝期における神の玉座」

10:50-11:30 肥後尚(関西大学)  
「古代エジプト人が認識した「世界」－二元論的思考を中心に－」

昼食

(同日開催)公開講演「ヒッタイトと旧約聖書-歴史と文化」13:00-15:00

山本 孟（同志社大学）

「ヒッタイト王国の支配領域の変遷」（イントロダクション）

アダ・タガー・コヘン（同志社大学）

*Why is the Hittite Cultural Heritage Important for Understanding the Hebrew Bible?*

(なぜヒッタイトの文化的遺産がヘブライ語聖書の理解に重要なのか?)

午後

司会：杉本翔

15:30-16:10 鈴木慎也(東京工業高等専門学校)  
「三次元計測を用いた貯水遺構に関する一考察」

16:20-17:00 Nurcan Küçükarslan (岡山大学)  
"Uncovering the Changes in the Technology of Pottery Production at the Iron Age Yassihöyük (Turkey)"

17:15-17:55 新井雅貴(同志社大学)  
「イザヤ書 26 章における死者の霊  $\text{רוּחַ} \text{מֵת}$  の性質」

18:05-18:45 大澤香(神戸女学院大学)  
「ヘブライ語聖書における捕囚と穢れのメタファー」

18:45-19:00 終わりの挨拶

19:30-21:30 懇親会

(コメンテーター)

アダ・タガー・コヘン(同志社大学神学部教授・CISMORセンター長)

下釜和也(古代オリエント博物館研究部研究員)

森若葉(国士舘大学イラク古代文化研究所研究員)

(発表者)

新井雅貴(同志社大学大学院神学研究科博士後期課程)

大澤香(神戸女学院大学文学部専任講師)

鈴木慎也(東京工業高等専門学校一般教育科講師)

Nurcan Küçükarslan (Graduate Student, Institute for Planetary Materials at Okayama University)

辻坂真也(同志社大学大学院神学研究科博士後期課程)

肥後時尚(関西大学大学院博士課程後期課程)

山本孟(同志社大学神学部・日本学術振興会特別研究員)

(参加者)

杉本翔(株式会社プレック研究所都市・文化部門 歴史・文化計画部 主査)

本研究会は、以下の助成を受けるものである

\*日本学術振興会(JSPS)科学研究費 2017-2021 年度基盤研究(C) titled 「Ancient Anatolia and the Bible: Legal Royal Prerogatives and Prescribed Rituals」 (17K02234 : Ada T. COHEN)。

\* 2017-2019 年度若手研究(B) 「紀元前 2 千年紀ヒッタイト王国によるアナトリア支配の実態と王国の境界」 (7K13549 : 山本孟)。